

杉花粉症

杉花粉症は医学会が認めているように耳鼻咽喉科医が診断治療する病気です。

杉花粉症かどうか血液検査で確定する事ができます。

杉花粉症を経験しなかった方も、ある年に急に発症します。

一度、杉花粉症になると残念ですが毎年必ず発症します。

花粉の量によって症状の強い年と軽い年があります。

その年によって症状が強かったり軽かったりするのとは、患者さんの体が“良くなった悪くなった”ではなくて、杉花粉の飛ぶ量によって左右されるのだと、ご理解ください。

治療は、内服薬、点鼻薬を症状にあわせて使い分けます。

杉花粉症の治療は、症状の出る2週間位前から予防的に行う事が大切です。予防的に治療をすると、花粉症のつらさを半分以下に減らす事が出来ます。来年からは、予防的治療に1月中に御来院ください。

副腎皮質ホルモン(ステロイド・セレスタミン)という薬は効果がありますが、副作用が強いので当院ではなるべく使用しないようにしています。医師によっては、この薬を平気で長期間投与する所がありますが危険な治療です。

副腎皮質ホルモン(ステロイド・ケナコルト)という注射を花粉症の患者さんに注射する病院がありますが、危険な悪徳医療の典型と言われています。注射一発で花粉症が治るといふのはこの治療の事です。危険です！

レーザー治療については別の説明書があります。

ご希望の方はお申し出ください。

矢野耳鼻咽喉科	藤沢市善行 1-25-11	8 1	3 5 4 1
医学博士	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野	潮
	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野	ゆかり
	日本耳鼻咽喉科学会専門医	矢野	さゆり